八郎潟町青年団に学ぶ

新津市青年団体連絡協議会会長　杵鞭真也

さきごろ、新津市の青年が、「青年県外交歓研修」で秋田県八郎潟町を訪れました。この研修に参加された杵鞭真也さん（新津市青年団体連絡協議会会長、新町二）から感想をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

＊　＊　＊

三月二十一日、二十二日の二日間にわたり、「青年県外交歓研修」で秋田県の八郎潟町を訪れました。参加したのは、各青年団体のリーダーなど二十名です。

一日目は、午後二時から町民会館で、八郎潟町教育委員会並びに八郎潟町青年団の人たちと交歓・討論会（第一回交流会）を行いました。八郎潟町からも約二十名の青年が参加し、日頃の青年活動について、熱心な話し合いの時間がもたれました。

一日目は、その後、会場を八郎潟町近郊の五城目温泉へ移しました。ゆっくり温泉につかった後、第二回交流会を開始したわけですが、適度にアルコールも入ったせいか話がおおいにはずみ、夜のふけるのも忘れるほどでした。

翌二十二日は、青年団の案内で八郎潟干拓地、大潟村中央公民館を見学させてもらいましたが、今回の研修で一番考えさせられたのは、青年の社会への関わり方です。八郎潟町青年団は、特別派手な活動をしているわけではないのですが、組織の土台がしっかりしており、学ぶべき点が多々ありました。ほんの一例ですが、日常生活におけるちょっとした疑問（合成洗剤、モーテル建設など）をそのまま放置したりせずに、納得のいくまで追求していく姿勢には大変感心させられたものです。

組織作り、活動の見直しを図ろうと考えている私たち新津市の青年にとって、八郎潟町の青年活動のあり方は非常に参考になります。そして、今回の研修は、私たちの今後の活動を進めていくうえで、一つのきっかけになるような気がしています。

新津市からの参加者の皆さん

町民会館での第1回交流会

幼児期家庭教育学級
- 家庭のあり方
  ～父親の役割と母の役割
- 豊かな情操を育む
  ～絵本からえる子どものぬくもり
- 幼児の健康と栄養
  ～たくましい子どもと献立
- 幼児の行動と心理
  ～依存心から自我のめざめ
- 心身の発達と成長
  ～遊びの中から体得するもの
- 親子で楽しむレクリエーション
  ～リズム遊びとゲーム遊び
- 共働きにおける家庭
  ～子育てと仕事の両立
- 施設訪問
  ～体験入園
- 母親の子育てに疑問
  ～これでよいのか私の子育て

中央家庭教育学級
- 豊かな心を育てる
  ～厳しさと思いやり
- 家庭の役割と学校教育
  ～連携と役割分担
- 親と子の信頼
  ～子どもの言い分、親の言い分
- 親と子のふるさと学習
  ～親子でともに学ぶ
- 望ましい食生活
  ～強い心とたくましいからだ
- 共働き家庭と子ども
  ～子育てと仕事の両立
- 施設訪問と交流
  ～障害者福祉施設を訪問
- 子どもの性について
  ～心と体の発達、第二性徴
- 病める現代の子ども
  ～社会の矛盾と心の葛藤

幼児期家庭教育学級・中央家庭教育学級受講生募集

中央公民館では「幼児期家庭教育学級」、「中央家庭教育学級」の受講生を募集しています。

□幼児期家庭教育学級（幼児を持つ親のための学級）
○開講日…五月二十八日（午前十時～正午。以降毎月一回、水曜日の予定）

□中央家庭教育学級（小学生を持つ親のための学級）
○開講日…五月二十七日（午前十時～正午。以降毎月二回、木曜日の予定）

両学級とも、会場は市民会館、受講料は無料（実習費は自己負担）です。また、募集人員はどちらも三十人で、主な学習内容は左のとおりです。

受講を希望される人は、五月二十二日までに中央公民館（☎22－9666）へお申し込みください。

※受講生が学習しやすいように、子どものお世話（託児）をします。

お買物、ご用命は市内で

駐車場完備
胃腸・皮膚・肛門（ぢ）・泌尿・X線
山田外科医院
正しい姿勢は健康の泉
居合道会員募集。女性歓迎
小出医院　森川医院　坂爪整骨院　至水原　一駅　ロイヤルコープ　大坂医院　山田外科

幕末明治夜話 (133)

異説四十一年目の敵討(X)

阿達義雄

(三) 二十年振りで叔父に対面

幸太郎は、村の人々に再会を約し、品多村を出発した。敵の手懸りらしいものを摑んだことを叔父留六郎や弟盛治郎に知らせたいと思っていると、ふと思い出したことは、信州松代に叔父留六郎の親友岩間民部という人物がいることであった。

それで、或は其処へ行って聞けば、消息が分かるかも知れないと気づき、道を急ぎ信州松代にいたり、岩間邸を訪ねて様子を尋ねたところが、叔父留六郎は、浅間山の麓の温泉場に世を忍び、髪結床を開いていると聞いて、直ぐ尋ねて行った。

広くもない山の温泉場の一軒の髪結床の店頭を覗いていると、白髪交りの町人髷の五十歳ばかりの職人姿の者が、表の方をじっと見つめていたが、

「オッ……お前は幸太郎じゃないか……」

と叫ぶと、その白髪交りの職人姿に向かって、

「あッ！叔父さんか」

と言って、二人は馳せ寄り、手を握り合って、ただハラハラと涙を流すばかりであった。

二人は、江戸で別れてから二十年、互いに嘗めた艱難辛苦の数々を語り合った。

敵の手懸りを得たことを喜び合ったものの、弟の盛治郎が何処にいるか分からないので、二人は、當惑してしまった。

幸太郎は、

「敵らしい者の消息を得たとはいうものの、何しろ十余年も前の話であるから、今もはたして其の寺にいるか、或は今も生きているかさえ分からないので、一応、自分だけ仙台領へ行き、様子を探った上で、叔父上に知らせ、その後の処置について考えましょう」

と言ったので、留六郎も尤もと同意し、此処で数日語り明かし、幸太郎一人、仙台領を指して急いだ。

この辺のことを長谷川伸の歴史小説の「八十一歳の敵」にどのように書いているかと調べてみると、

—和泉の岸和田にはいった孝太郎は、どこかで道を誤ったのか堺へ行くつもりで、和泉郡信太村へ迷い込み、ドシャ振りの雨を農家の軒に避けていると、そこの親切な夫婦に助けられ、その晩その家に泊めて貰い、翌朝そこの子供が二人寝ているのを見て、手当てをしてやった処が、大変に喜ばれ、遂に信太村に医者になって居付いた。（中略）

それから年月が過ぎ去り、又、過ぎ去り、久米孝太郎の清野淡斎が四十五歳になった春のこと、信太に近い中村の百姓弥助が、病気全快の礼にやってきて、世間話をしているうちに、こういう事を言った。

「私は仙台領のものですが、十年ばかり前に、村の娘と駆け落ちして、諸所を流れ歩きました末、縁あって、この地で夫婦養子にしてもらい、一生の落ち着きどころが出来まして、有難いことです」

「その話を聞いて他人ごとながら喜んでいる。結構だな。どうだな、国許、旅先などで、話のタネになりそうな、変ったヤツはないか」

「変ったと申せば、私どもがまだ国許にいるとき、坊さまの癖に外出のときも内にいるときも、短刀を隠して持っている人がありました。越後の人で、私どもが知っていたころ、年は六十の上らしかったので、今は七十越したでしょう」

「はてなそれは、探している私の父親ではないかな」

「へええ、あの成就院の坊さまが、先生さまの親御さまで」

「どうもそうらしい。その寺はどこだ」

弥助が答えたのは、仙台領名取郡富沢村の曹洞宗柏葉山成就院で、坊さまの名は記憶にない。村の者は成就院さまとばかり呼んでいたという。

「先生、こういうことを申していいか悪いかわかりませぬが、成就院の坊さまは、外へ出る時は、刀を仕込んだ杖を持って出ます。寺で寝る場所が時によって違っております。何か訣のある坊さまのようです」

「そうだろう。狙う者があるので用心しているのだ。それから推してみて、どうも父親らしい」

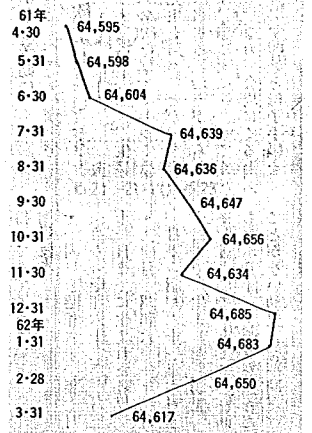
孝太郎は、村の人達に、探していた父の生死を確かめた上で、ここへ再びくるつもりであると挨拶して、出立したのが春の花の遅れ咲きが散りかけた頃である。

＊　＊　＊

右の話は、細部において『東北の秘史逸話』と異なる所も見られるが、大体に右の書を粉本として書いたものと考えられる。

（新潟大学名誉教授）

人口の動き



人口	64,617	(−33)
男	31,302	(−35)
女	33,315	(＋2)
世帯数	17,052	(＋21)

3月31日現在（）内は前月比

3月中の動き

□出生	56	□死亡	29
□転入	382	□転出	443
□結婚	58	□離婚	7

お買物、ご用命は市内で

南国（九州）育ちのおいしさ！
アンデスメロン・プリンスメロン
しらゆきメロン・パパイヤメロン
リッチなデザートとして味と香りをおたのしみ下さい。おみやげにどうぞ。
フレッシュでおいしい果物の店 やまいし 新津市本町3 TEL 23-0397

浴室からキッチンまで水まわりの増改築の専門店
水と住まいのふれ愛
システムショップ かねみや
INAX
本町2丁目 ☎24－1630